

男女共同参画社会に関するアンケート調査（案）

—ご協力をお願い—

日頃より、豊能町行政の推進につきまして、深いご理解とご協力をいただき、感謝申し上げます。

さて、豊能町では、平成25年3月に策定しました現行の「豊能町男女共同参画プラン」の見直しを計画しています。

見直しのプラン策定にあたり、この度、18歳以上の方を対象に2,500名を無作為に選ばせていただき、アンケート調査を実施することになりました。

このアンケート調査は、男女共同参画社会への意識、課題等について町民のみなさまのご意見を伺い、新しいプラン策定に向けての貴重な資料とさせていただくため実施するものです。ご多忙の折、誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解の上、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、調査の結果は、すべて統計的に処理し、上記の目的以外に使用することは一切ありません。

令和4年 月
豊 能 町

—回答用紙記入上の注意事項—

◎回答は、同封の回答用紙（色のA4版片面）にあてはまる番号を1つ（複数回答については複数）選び、回答用紙に記入してください。

◎回答はマークシート方式（記入例参照）および、自由記入となっています。マークシートには、黒鉛筆を使用し、記入枠の「だ円」を濃く完全に塗りつぶしてください。マークが不完全な場合は、電算処理にて読み取ることができませんので注意してください。訂正する場合は消しゴムで完全に消してから記入しなおしてください。

【記入例】

良い記入例	悪い記入例
●	   (訂正の×印)

◎ご記入いただきました回答用紙（別紙）のみ、同封した返信用封筒に入れ、令和4年 月 日（ ）（当日消印有効）までに、切手を貼らずそのままご投函くださいますようお願いいたします。お忙しいところ、誠に恐縮ではございますが、何卒ご協力をお願い申し上げます。

※令和4年10月4日現在の住民データに基づき対象者を抽出しています。

この調査票についてのお問い合わせは、下記へお願いします。

豊能町 住民部 住民人権課
TEL 072-739-3402
FAX 072-739-1980

それぞれの質問について、あてはまる番号を1つ（複数回答については複数）選び、別紙の回答用紙（●色）に、選択された番号を黒く塗りつぶして下さい。

【はじめに、あなた自身（回答者）のことについておたずねします。あてはまるものを1つお選びください】

問1 あなたの性別は。

1. 男 2. 女 3. その他

問2 あなたの年齢はおいくつですか。（令和4年●月●日現在の満年齢）

1. 18～19歳 2. 20～29歳 3. 30～39歳 4. 40～49歳 5. 50～59歳
6. 60～69歳 7. 70歳以上

問3 あなたのお住まいはどちらですか。

1. 余野 2. 川尻 3. 木代 4. 切畑 5. 野間口 6. 高山 7. 牧 8. 寺田
9. 吉川 10. ときわ台 11. 東ときわ台 12. 光風台 13. 希望ヶ丘 14. 新光風台

問4 あなたは結婚していますか。

1. 結婚している 2. 婚姻届を提出していないが、パートナー（事実婚・交際相手）と暮らしている
3. 過去に結婚していたが、離別・死別した 4. 結婚していない 5. その他（具体的に）

問5 あなたとあなたの配偶者・パートナーの職業は何ですか。（それぞれ回答は1つ）

配偶者・パートナーがいない方は、ご自身の欄だけ記入してください。

1. 正規社員・職員 2. 契約社員・派遣職員 3. パート・アルバイト 4. 自営業主・家族従業員
5. 家事専業 6. 学生 7. 無職 8. その他（具体的に）

問6 あなたの家族構成は次のどれですか。（回答は1つ）

1. 1人世帯 2. 一世代夫婦（夫婦だけ） 3. 二世代世帯（親と子）
4. 三世代世帯（親と子と孫） 5. その他の世帯（具体的に）

【男女平等に対する意識について】

問7 あなたは次の分野において男女の地位は、平等になっていると思いますか。（それぞれ回答は1つ）

	男性が優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等	どちらかといえば女性が優遇されている	女性が優遇されている
ア. 家庭や生活の場では	1	2	3	4	5
イ. 職場では	1	2	3	4	5
ウ. 学校教育の場では	1	2	3	4	5
エ. 冠婚葬祭などの慣習やしきたりでは	1	2	3	4	5
オ. 政治の場では	1	2	3	4	5
カ. 法律や制度の場では	1	2	3	4	5
キ. 地域活動の場では	1	2	3	4	5

問8 我が国ではこれまで、「男は仕事、女は家庭」という風潮がありましたが、あなたは「男は仕事、女は家庭」という考え方についてどう思いますか。（回答は1つ）

1. そのとおりだと思う 2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない 4. そうは思わない

<問8で「1」または「2」と回答した方にお聞きします。>

問8-1 そう思う理由を教えてください。（回答はいくつでも）

1. 日本の伝統・美德だと思うから 2. 女性の方が家事に向いていると思うから
3. 子どもの成長にとってよいと思うから 4. 個人的にそうありたいから
5. 理由を考えたことはない 6. その他（具体的に）

<問8で「3」または「4」と回答した方にお聞きします。>

問8-2 そう思わない理由を教えてください。（回答はいくつでも）

1. 男女平等に反すると思うから
2. 女性が家庭のみでしか活躍できないことは、社会にとって損失だと思うから
3. 男女ともに仕事と家庭に関わる方が、各個人、家庭にとってよいと思うから
4. 少子高齢化により労働力が減少し、女性も仕事をする必要があると思うから
5. 一方的な考え方を押し付けるのは良くないと思うから
6. 男性の所得だけでは経済的に難しいと思うから
7. 理由を考えたことはない
8. その他（具体的に）

【家庭生活に対する意識について】

問9 あなたのお考えに近いものを選んでください。（それぞれ回答は1つ）

	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
ア. あえて結婚する必要はない	1	2	3	4
イ. 結婚生活がうまくいかなければ離婚した方がよい	1	2	3	4
ウ. 結婚しても必ずしも子どもを持つ必要はない	1	2	3	4
エ. 希望する夫婦は別々の姓名を名乗っても構わない	1	2	3	4

問10 あなたは次のことがらについて、主に男性、女性のどちらが担う方がよいと思いますか。(それぞれ回答は1つ)

	主に男性の役割	どちらかといえば男性の役割	両方同じ程度の役割	どちらかといえば女性の役割	主に女性の役割
ア. 生活費をかせぐ	1	2	3	4	5
イ. 日々の家計を管理する	1	2	3	4	5
ウ. 日常の家事	1	2	3	4	5
エ. 老親や病身者の介護・看護	1	2	3	4	5
オ. 子ども教育としつけ、学校行事への参加	1	2	3	4	5
カ. 乳幼児の世話	1	2	3	4	5
キ. 自治会、町内会などの地域活動への参加	1	2	3	4	5

【仕事に対する意識について】

問11 あなたは女性が仕事をするということについてどう思われますか。(回答は1つ)

1. 結婚や出産に関わらず仕事を続ける方がよい
2. 結婚するまで仕事を持ち、結婚後は家事に専念する方がよい
3. 子どもができるまで仕事を持ち、子どもができたなら家事や育児に専念する方がよい
4. 育児の時期だけ一時やめ、その後はフルタイムで仕事を続ける方がよい
5. 育児の時期だけ一時やめ、その後はパートタイムで仕事を続ける方がよい
6. 仕事に就かない方がよい
7. その他(具体的に)

問12 あなたは今の職場で性別によって差があると思いますか。(それぞれ回答は1つ)

	男性が優遇されている	女性が優遇されている	平等である
ア. 募集・採用	1	2	3
イ. 賃金	1	2	3
ウ. 仕事の内容	1	2	3
エ. 昇進・昇格	1	2	3
オ. 管理職への登用	1	2	3
カ. 能力評価(業績評価、人事考課など)	1	2	3
キ. 研修の機会や内容	1	2	3
ク. 働き続けやすい雰囲気	1	2	3
ケ. 育児・介護休暇などの休暇の取得のしやすさ	1	2	3

<64歳以下の方で、現在、家事専業または、無職の方(学生は除く)にお聞きします。>
以外の方は問14へ

問13 あなたは今後働きたいとお考えですか。(回答は1つ)

1. はい
2. いいえ
3. どちらとも言えない
4. その他(具体的に)

<問13で「1. はい」と回答した方にお聞きします>

問13-1 今後は働きたいけれども、現在働くことができない理由は何ですか。(回答はいくつでも)

1. 保育施設に入所できなかったから
2. 延長保育や一時預かり、休日保育などの保育サービスが身近にないから
3. 仕事内容、勤務場所、勤務時間等について条件に合う働き口が見つからないから
4. 家事や育児、介護・看護について、配偶者、パートナー等の協力が得られないから
5. 介護・看護について施設やサービスを利用できなかったから
6. 働くことについて配偶者、パートナー等家族の同意が得られないから
7. 働くことで家族に迷惑がかかると思うから
8. 仕事と家庭の両方をうまくやっていく自信がないから
9. 仕事に必要な知識や能力、職場での人間関係に不安を感じるから
10. その他(具体的に)

<問13で「2. いいえ」と回答した方にお聞きします>

問13-2 「いいえ」と回答した理由は何ですか。(回答はいくつでも)

1. 出産・育児のため
2. 介護・看護のため
3. 病気・怪我のため
4. 学校以外で進学や資格取得などの勉強をしているから
5. 急いで仕事に就く必要はないから
6. 希望する仕事、条件に合う仕事がありそうにないから
7. 知識、能力などに仕事に就く自信がないから
8. その他(具体的に)

問14 あなたは出産、育児、介護・看護などの理由で女性が仕事を辞めずに働き続けるためには、
どのようなことが必要だと思いますか。(回答は3つまで)

1. 育児、介護、看護休暇制度の充実
2. 育児、介護、看護休暇取得のしやすさ
3. 企業経営者や職場の理解
4. 労働時間の短縮、フレックスタイム制などの柔軟な勤務制度の導入
5. 育児や介護・看護のための施設やサービスの充実
6. 夫・パートナーなどの家族の理解や家事、育児、介護・看護などへの参加
7. その他(具体的に)

問15 あなたは出産、育児、介護・看護などで仕事を辞めた後、再就職を希望する女性が再就職しやすくなるためには、
どのようなことが必要だと思いますか。(回答は3つまで)

1. 就職情報や職業紹介などの相談機関の充実
2. 技能・技術を身につけるための研修や職業訓練の機会の充実
3. 育児や介護・看護などによる退職者を同一企業で再雇用する制度の普及
4. 企業経営者や職場の理解
5. 労働時間の短縮、フレックスタイム制などの柔軟な勤務制度の導入
6. 育児や介護・看護のための施設やサービスの充実
7. 夫・パートナーなどの家族の理解や家事、育児、介護・看護などへの参加
8. 夫・パートナーの育休取得が当たり前となっている社会
9. その他(具体的に)

【「仕事」「家庭や地域活動」「プライベートの時間」の関わり方について】

問16 あなたは、生活の中で「仕事」、「家庭や地域活動」、「プライベートの時間」で何を優先しますか。
あなたの希望と現実(現状)に最も近いものをそれぞれ1つお答えください。

(1) 希望として(回答は1つ)

1. 「仕事」を優先したい
2. 「家庭や地域活動」を優先したい
3. 「プライベートの時間」を優先したい
4. 「仕事」と「家庭や地域活動」をともに優先したい
5. 「仕事」と「プライベートの時間」をともに優先したい
6. 「家庭や地域活動」と「プライベートの時間」を優先したい
7. 「仕事」と「家庭や地域活動」と「プライベートの時間」の3つとも大切にしたい
8. その他(具体的に)

(2) 現実(現状)として(回答は1つ)

1. 「仕事」を優先している
2. 「家庭や地域活動」を優先している
3. 「プライベートの時間」を優先している
4. 「仕事」と「家庭や地域活動」をともに優先している
5. 「仕事」と「プライベートの時間」をともに優先している
6. 「家庭や地域活動」と「プライベートの時間」を優先している
7. 「仕事」と「家庭や地域活動」と「プライベートの時間」の3つとも大切にしている
8. その他(具体的に)

問17 あなたは、今後、男性が家事・子育て・介護・地域活動に参加していくためにはどのようなことが必要だと思いますか。(回答は3つまで)

1. 男女の役割分担について社会通念や慣習、しきたりを改めること
2. 男性が家事、育児、介護・看護、地域活動に参加することについて、社会的評価を高めること
3. 夫婦、パートナーの間で家事などの分担をするように十分話し合うこと
4. 労働時間の短縮などを進め、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること
5. 小さい時から男性に家事や育児に関する教育をすること
6. 男性が育児や介護・看護、地域活動を行うための、仲間(ネットワーク)作りを進めること
7. 家庭や地域活動と仕事の両立などの問題について、男性が相談しやすい窓口を設けること
8. その他(具体的に)

問18 あなたは、現在地域活動に参加されていますか。(回答は1つだけ)

1. 何らかの地域活動に参加している
2. 特に参加している地域活動はないが、今後参加してみたいものがある
3. 参加したいと思うが参加できない
4. 今後とも参加したくない

<問18で「1」または「2」と回答した方にお聞きします>

問18-1 あなたが現在参加している、または今後参加してみたいと思われる地域活動は何ですか。
(回答はいくつでも)

1. 自治会・町内会などの行事や活動
2. 高齢者や障害者のための福祉活動
3. 育児支援や子どもの育成活動
4. 消費者問題等に関する市民活動
5. 清掃・美化や環境保全のための活動
6. 防犯活動や防災活動
7. 国際理解・国際交流関連や外国人の支援活動
8. 趣味やスポーツのサークル活動
9. 自治体主催の講座や文化・教養講座などの受講
10. その他(具体的に)

<問18で「3」または「4」と回答した方にお聞きします>

問18-2 地域活動に参加できない理由、参加したくない理由は何ですか。(回答はいくつでも)

- 1. 家事や育児、介護・看護との両立が難しい
- 2. 仕事との両立が難しい
- 3. 家族の理解を得られない
- 4. 活動場所がない、活動がどこでできるかわからない
- 5. 一緒に活動する仲間や活動資金がない
- 6. 参加したい活動がない
- 7. 健康状態に自信がない
- 8. 人間関係が面倒だから
- 9. プライベートの時間を優先したい
- 10. その他(具体的に)

【DV(ドメスティック・バイオレンス)について】

問19 あなたは、配偶者・パートナーから暴力(なぐる、ける、無視するなどの身体的、精神的な暴力等)について、相談できる窓口があることを知っていますか。(回答は1つ)

- 1. 知っている
- 2. 知らない

<問19で「1」と回答した方にお聞きします>

問19-1 相談窓口としてどのようなものを知っていますか。(回答はいくつでも)

- 1. 配偶者暴力相談支援センター
- 2. 警察
- 3. 法務局、人権擁護委員
- 4. 役場の相談窓口(生活・人権相談窓口など)
- 5. 上記1~4以外の公的な機関
- 6. 民間の専門家や専門機関(弁護士、弁護士会、カウンセラー、民間シェルターなど)
- 7. 具体的な名称は知らないが、相談窓口があることは知っている。

<交際相手のいる(いた)方にお聞きします>

問20 あなたは交際相手から、次のようなことをされたことがありますか。(それぞれ回答は1つ)

	何回もある	1, 2回はある	全くない
ア. なぐったり、けったり、物を投げつけたり、突き飛ばしたりするなどの身体に対する暴行を受けた	1	2	3
イ. 人格を否定するような暴言、交友関係を細かく監視する、なぐるふりをして脅かすなどの精神的な嫌がらせを受けた	1	2	3
ウ. あなたが嫌がっているのに性的な行為を強要された	1	2	3

<これまでに結婚(事実婚や別居中含む)したことのある方にお聞きします>

問21 あなたは夫や妻から(事実婚や別居中含む)から、次のようなことをされたことがありますか。(それぞれ回答は1つ)

	何回もある	1, 2回はある	全くない
ア. 命の危険を感じるぐらい暴力を受ける	1	2	3
イ. 医師の治療が必要なくらいの暴力を受ける	1	2	3
ウ. 医師の治療は必要ないくらい暴力を受ける	1	2	3
エ. 嫌がっているのに性的な行為を強要される	1	2	3
オ. 見たくないのに、アダルトビデオ等を見せられる	1	2	3
カ. 何を言っても無視され続ける	1	2	3
キ. 生活費を渡されない	1	2	3
ク. 交友関係や電話を細かくチェックされる	1	2	3
ケ. 「養ってやっている」とか「男のくせに」等と言われる	1	2	3
コ. 大声で罵声を浴びせられる	1	2	3
サ. 意味なく人間性を否定される	1	2	3

<問20と問21で、1つでも「1」または「2」と回答した方にお聞きします。>

問22 あなたは、そのことを誰かに打ち明けたり、相談しましたか。(回答はいくつでも)

- 1. 友人、知人
- 2. 家族や親戚
- 3. 学校関係者
- 4. 職場の相談窓口
- 5. 行政の相談窓口(役場の人権相談、法務局、人権擁護委員など)
- 6. 警察・警察の相談窓口
- 7. その他の公的な機関(子ども家庭センター、女性相談センターなど)
- 8. 民間の専門家や専門機関、医療関係者(弁護士、カウンセラー、民間シェルター、医師・看護師など)
- 9. どこ(誰)にも相談しなかった
- 10. その他(具体的に)

<問22で「9. どこ（誰）にも相談しなかった」と回答した方にお聞きします。

問22-1 あなたが、どこ（誰）にも相談しなかった（できなかった）のはなぜですか。（回答はいくつでも）

1. どこ（誰）に相談してよいのかわからなかったから
2. 相談するほどのことではない、相談しても無駄だと思ったから
3. 誰にも言うなと脅された、相談したことが分かったと仕返しやもっとひどい暴力を受けると思ったから
4. 相談相手の言動によって不快な思いをさせられると思ったから
5. 自分にも悪いところがある、自分さえ我慢すれば何とかこのままやっていけると思ったから
6. 世間体が悪い、恥ずかしくて誰にも言えなかったから
7. 他人を巻き込みたくなかったから
8. 他人に知られると、これまでどおりの付き合い（仕事や学校などの人間関係）ができなくなると思ったから
9. そのことについて思い出したくなかったから
10. その他（具体的に）

【性暴力・性犯罪について】

問23 あなたは、これまでに望まないのに性的な行為をされたことがありますか。（回答は1つ）

1. ある
2. ない

<問23で「1. ある」と回答した方にお聞きします。

問23-1 あなたは、そのことを誰かに打ち明けたり、相談しましたか。（回答はいくつでも）

1. 友人、知人
2. 家族や親戚
3. 学校関係者
4. 職場の相談窓口
5. 行政の相談窓口（役場の人権相談、法務局、人権擁護委員など）
6. 警察・警察の相談窓口
7. その他の公的な機関（子ども家庭センター、女性相談センターなど）
8. 民間の専門家や専門機関、医療関係者（弁護士、カウンセラー、民間シェルター、医師・看護師など）
9. どこ（誰）にも相談しなかった
10. その他（具体的に）

<問23-1で「9. どこ（誰）にも相談しなかった」と回答した方にお聞きします。

問23-2 あなたが、どこ（誰）にも相談しなかった（できなかった）のはなぜですか。（回答はいくつでも）

1. どこ（誰）に相談してよいのかわからなかったから
2. 相談するほどのことではない、相談しても無駄だと思ったから
3. 誰にも言うなと脅された、相談したことが分かったと仕返しやもっとひどい暴力を受けると思ったから
4. 相談相手の言動によって不快な思いをさせられると思ったから
5. 自分にも悪いところがある、自分さえ我慢すれば何とかこのままやっていけると思ったから
6. 世間体が悪い、恥ずかしくて誰にも言えなかったから
7. 他人を巻き込みたくなかったから
8. 他人に知られると、これまでどおりの付き合い（仕事や学校などの人間関係）ができなくなると思ったから
9. そのことについて思い出したくなかったから
10. その他（具体的に）

問24 あなたは、次のことはセクシャル・ハラスメント（性的嫌がらせ）だと思いますか。

（男性⇒女性に限らず、女性⇒男性、同性同士の場合も含む）（それぞれ回答は1つ）

	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそうは思わない	そう思わない
ア. 地位や権限を利用して、性的な関係をせまること	1	2	3	4
イ. さわる、抱きつくなど肉体的な接触をすること	1	2	3	4
ウ. 性的冗談や質問、ひやかしなどの言葉をかけること	1	2	3	4
エ. 宴席で異性にお酒を強要すること	1	2	3	4
オ. 結婚予定や出産予定をたびたび聞くこと	1	2	3	4
カ. 恋人の有無についてたびたび聞くこと	1	2	3	4
キ. 容姿について、あれこれ聞かれる・話題にされる	1	2	3	4
ク. 身体をじろじろ見られる	1	2	3	4

問24-1 あなたは、次のことを職場や学校、地域などでされたことはありますか。(回答はいくつでも)

1. 地位や権限を利用して、性的な関係をせまること
2. さわる、抱きつくなど肉体的な接触をすること
3. 性的冗談や質問、ひやかしなどの言葉をかけること
4. 宴席で異性にお酒を強要すること
5. 結婚予定や出産予定をたびたび聞くこと
6. 恋人の有無について度々聞くこと
7. 容姿について、あれこれ聞かれる・話題にされる
8. 身体をじろじろ見られる

【男女共同参画に関する用語の認知度について】

問25 次の言葉について、あてはまるものはどれですか。(それぞれ回答は1つ)

	よく知っている	聞いたことがある	知らない
ア. 女子差別撤廃条約	1	2	3
イ. 男女雇用機会均等法	1	2	3
ウ. 育児・介護休業法	1	2	3
エ. 男女共同参画社会	1	2	3
オ. DV防止法	1	2	3
カ. 性別役割分担意識	1	2	3
キ. セクシャル・ハラスメント	1	2	3
ク. ジェンダー	1	2	3
ケ. ポジティブ・アクション	1	2	3
コ. デートDV	1	2	3
サ. ワーク・ライフ・バランス	1	2	3
シ. LGBTQ	1	2	3
ス. SOGI	1	2	3
セ. ダイバーシティ	1	2	3
ソ. 候補者男女均等法	1	2	3

【男女共同参画社会の実現に向けて】

問26 あなたは、男女共同参画社会を推進していくために府や市町村は今後どのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。(回答はいくつでも)

1. 府や市町村の審議会委員や管理職など、政策・方針決定の場に女性を積極的に登用する
2. 民間企業・団体等における管理職への女性の登用、男女の均等な取扱いが進むよう支援する
3. 男性や女性の生き方や悩みに関する相談の場を充実する
4. 男女共同参画に関する啓発活動、情報提供、学校教育や生涯学習の場での学習を充実する
5. 仕事と生活のバランスがとれるよう男女ともに働き方の見直しを進める
6. 育児や介護のための施設やサービスの充実など、子育てや介護中でも仕事を続けられるような支援、仕事を辞めた人の再就職の支援を進める
7. 妊娠・出産期、更年期など生涯を通じた女性の健康づくりを推進する
8. 女性に対する暴力(セクシュアル・ハラスメントや配偶者等からの暴力)防止や被害者への支援を充実する
9. 候補者男女均等法に基づき、選挙の候補者数をできる限り男女均等にしよう啓発活動を充実する
10. その他(具体的に)

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

返信用封筒に入れ、〇月〇日(〇)までに投函してください。